

青森県多文化共生推進プラン（案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方

※いただいた意見等は、なるべく原文のまま掲載しています。（但し、個人が特定されるような情報を含む場合は、同趣旨の表現に置き換えています。）

※1つの意見等の中で、複数の内容に触れている場合は、必要に応じて分割の上、それに対する考え方を示しています。

※意見等の区分については、原案のページ数等が明記されているものを除き、当課で判断し振り分けています。

No.	頁番号	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の 反映状況
計画全般				
1		<p>多文化共生とかグローバル化とかの言葉の下に日本の伝統的な文化や価値観を破壊することには断固として反対します。外国人の住みやすい環境の整備。必要ですか。日本の文化や習慣を受け入れ、溶け込もうとする気がないなら日本に住むべきでないと思います。まず日本人が住みやすく安心して安全が実現出来ていないのに外国人の事を考える余裕は無い。</p>	<p>本県においては、人口減少及び少子高齢化が進む中、技能実習生をはじめとする外国人住民が増加しており、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうしながら、地域社会の構成として共に生きていくような、多文化共生の地域づくり必要性がいっそう増しています。</p> <p>このため、県では、多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現に向けて、行政、地域の国際交流協会及び外国人支援団体等が連携しながら青森県多文化共生推進プランを策定し、多文化共生に関する施策を総合的かつ効果的に推進することとしています。</p>	<p>その他 （質問や感想、施策の体系外への意見）</p>